

第5回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議録（概要）

日 時：平成17年12月26日（月）

午後1時30分から

場 所：第一庁舎8階 第三委員会室

（1）基本構想「施策の大綱（骨子案）」教育関係について

- 作業部会長 ・ ページごとに議論を進めたい。まず、9ページについてご意見をいただきたい。
- 作業部会員 ・ 施策の視点はどのようなことを書いたらよいのかよく分からない。視点の1点目の「環境」は、教育以外の他の分野にも出てくる言葉であるが、ここでどのような環境であるかを特定しなくてよいのか。
- ・ 中項目の1つ「次世代を担う人材の育成と環境の整備」の1点目の「個性」「心の優しさと豊かな感性」「生きる力」の3つは、1つ1つが縦に分断される意味になるのか。もし、この文章が横に繋がっていくものだとすると、「心の・・・感性」部分を体言止めにするのではなく、「・・・感性を培い」という言葉を入れた方が良いのではないかと思う。
- ・ 同じ1の基本計画に向けた要素の2点目、「生きる力」をもう少し説明する表現が必要か。「生きる力」という言葉はよく使われる言葉であるが、社会で問われ始めているのは、人間としての基礎力である。「人間としての基礎力を形成し、『生きる力』を育む学校教育の推進」としたらどうか。
- 作業部会長 ・（施策の視点の）「環境」については、何か加えるとすると「教育、文化、スポーツ環境の整備」とするか。
- ・ まちづくりの方向性の文章化されている部分には、「スポーツ」という明確な表現がないがこの辺りは問題ないか。
- 作業副部長 ・ 他との尺度を合わせる意味と、「健やか」という言葉で拾えると思うので、「スポーツ」という直接的な表現を用いなくても良いと思う。
- 作業部会長 ・ 「生きる力」についてはどうか。
- 作業副部長 ・ 「生きる力」はかなり抽象度が高い言葉で、市民の皆さまに分かりにくいと思うので、前に修飾する言葉が必要だと思う。
- 作業部会長 ・ 「生きる力」については、教育の現場でもよく議論の対象となる言葉である。人間としての「人間力」や「よりよく生きる」ということだろう。個性についても、個人主義との混同が問題にはなっている。
- 専門部会員 ・ ワークショップの中でも出てきた言葉である「生きる力」が、基本構想の1点目に入ったため、基本計画の要素と表現が重なってきたので、要素の「生きる力」を違う表現に変えても良いのではないか。

- 事務局 ・「生きる力」という言葉を、現段階で基本計画の要素の中で説明するのは困難なため、今回は修正をしなかった。今後、基本計画の策定作業の中で議論していただき、具体的な表現にしていきたいと考えているが、よい表現があったらご意見いただきたい。
- 作業部会員 ・先程意見があったように「人間としての基礎力を形成し、生きる力を育む・・・」とした方が良いのではないかと。
・基本計画に向けた要素は、審議会に出ていくのか。
- 事務局 ・四角で囲んである基本計画に向けた要素も審議会に出すが、この内容については、このまま施策のタイトルになるのではなく、今後の議論により変更されてくる箇所である。
・まちづくりの方向性、施策の視点については、教育分野を横に貫く共通視点として書いているものである。
- 作業部会員 ・要素の「生きる力」の前に修飾を付けると、基本構想の内容との整合性が難しくなるので、このままとするか、あるいは、「人間としての基礎力を形成し、ともに学びあい高め合う学校教育の推進」とするのもよいのではないかと。しかし、急いでここで文言を決めてしまう必要もないと思うので、今後議論することとして、このまま修正を加えなくてもよいのではないかととも思う。
- 作業部会長 ・では、基本構想の内容の1点目を「・・・心の優しさと豊かな感性を培い、生きる力を育む・・・」に修正することとして、他はそのままということによいか。
<了承>
- 作業副部長 ・基本計画に向けた要素の各項目の順番は優先順位があるのか。
- 事務局 ・基本計画に向けた要素は並列であり、施策の優先順位はない。ただ、基本構想の1～4の順番については、このままでよいのか再度確認していただく必要がある。
- 作業部会長 ・基本計画に向けた要素は並列ということであるが、気に掛かるという意見があれば変えてもいいということか。
・施策の視点の順番は、(現在2点目にある)人づくりを一番にした方がよいのではないかとと思うが、もし同じような意見がなければこのままとしたい。(現状のままとする)
・基本構想項目1つ目の内容2点目は、幼児期から20歳くらいまでを想定した場合「児童・生徒」という表現でよいのか。
- 専門部会員 ・高校生についても「生徒」として取り扱っている。
- 専門部会員 ・児童福祉法では、就学前も「児童」となっている。
- 作業部会員 ・大タイトルは「心豊かな人々と・・・」とした方がよいのでは。
- 作業部会員 ・「人」とあるのを平仮名にした方が対象を広く捉えられるのではないかと。人は輝くに繋がるのか。

- 作業副部長 ・タイトルはできるだけコンパクトにした方がよいと思うので、人々としなくてもよいかもしれない。単数でも複数の意味も含む。
- 専門部長 ・(教育以外の)他の分野との整合を考えると「人」という単数の方がよいと思う。
- 作業部長 ・では、ここは原案のままとしたい。
・次に、10 ページについてはいかがか。3の文化関係のタイトルは2案提示されているが皆さんどのようにお考えか。
- 作業副部長 ・1案は(文化を)見ている側が感じる印象があり、2案は、(文化を)育てていくという、能動的なニュアンスを感じる。資料を見た当初は、1案が良いかと思ったが、よく考えると2案が良く感じるが、ここにもう少し大きな視点もほしい。
- 作業部会員 ・「誇りと愛着を育むゆとりと潤いを感じる多彩な・・・」と繋げたらどうか。
- 作業部会員 ・1案は大変広いもので、ピカソなどの文化も含まれる感じがする。2案は、ふるさとの文化のイメージで、郷土に根付いたもの。どこか限定される感がある。
- 作業部会員 ・2案は大変大事なことだが、限定されてしまう感じがする。1案に、文化に対するアグレッシブなイメージの言葉を加えて、もう一練りしたらどうか。
- 作業副部長 ・2案だと、長野を離れた人も含めている表現に思う。長野市に税金を納めている人を大事にするということから、1案をアレンジした方がよいと思う。
- 作業部会員 ・1案は大きなものを表現しているイメージであり、2案は郷土のイメージで、狭く感じる。
- 専門部会員 ・1案は、行政主体のイメージが強いかと思う。2案だと地域主導で文化を引っ張っていくイメージが出る。これからは、地域が主体となって進めてもらう必要があるので2案が良いのではないかと思う。
- 作業部会員 ・まちづくりの方向性の文章との整合を考えると1案の方が良いかと思う。
- 作業部会員 ・文化を考える時には、保護と創造の両輪が必要だと思うので、あまり限定はしたくない。
- 作業部長 ・では、1案ということではどうか。
- 作業副部長 ・「誇りと愛着」については、基本構想の内容に加えたらどうか。例えば、1点目を「市民が誇りと愛着を持てる文化芸術活動の・・・」としたらどうか。
- 作業部会員 ・文化芸術活動は、あまり限定したくない。基本計画の中で生かしていけば良いと思う。
- 作業部長 ・では、1案を採用し、2案の内容については、今後基本計画の中に生

かしていくということで良いか。

<了承>

・次に、基本計画に向けた要素の4点目「情緒教育」を「情操教育」としたらどうかという意見が(本日欠席の中村部会員より)あったがいかかがか。

作業部会員 ・「情操」という言葉には、感性も含まれ、より大きな表現になるので、修正した方がよいと思うが、その場合、「幼児期からの豊かな情操教育による・・・」としないとおかしくなる。

作業部会長 ・ここについては、そのとおりに修正するというで良いか。

<了承>

作業部会員 ・2の生涯学習の部分は今後の地域づくりのイメージが湧いてくる表現になっているので良いと思う。

作業部会長 ・11ページについては、前回あまり意見が出なかったところであるがいかかがか。

作業副部会長 ・基本計画に向けた要素の2点目の「障害者スポーツの振興」だとパラリンピックなど大きな競技会のイメージになる。気軽に楽しめることが大切なのは。

・5点目の「総合型地域スポーツクラブの創設・育成」について、施策の内容自体を否定するわけではないが、今後10年を考えると、入れてしまって良いものか疑問である。「地域に根付いたクラブチームの育成」の表現の中でぼやかしておいてもよいのでは。

専門部会員 ・障害者スポーツについては、生き生きとした生活のために実施しているので、競技会のみを想定しているのではないが、確かに堅い言い回しではあるかと思う。

・「総合型地域スポーツクラブ」については、第三次総合計画後期基本計画にも掲げているが、施策の連続性からあげたものである。長野市は合併により市域が広くなり、現在2,000もの団体があり集約するのは困難ではある。しかし、既に似た取組を進めているクラブもあり、それらを支援する意味からも掲載が必要と考える。

作業副部会長 ・わかりました。

作業部会長 ・では、最後に全体を通して何かあったらどうぞ。

作業部会員 ・3の文化関係の基本計画に向けた要素の下から2点目の最後に「有効な活用」を追加したらどうか。

作業部会員 ・一番下の項目と内容が重なるので、追加する必要はないかと思う。

作業部会長 ・この内容については、今後、基本計画策定の中で生かしていくということで良いか。

・事務局から、本日の意見の整理をお願いしたい。

事務局 ・修正箇所だけ確認する。1点目は、9ページの1つ目タイトル1点目

の内容を「個性を伸ばし、心の優しさと豊かな感性を培い、生きる力を育む多様な教育の展開」とする。2点目としては、10ページの3つ目のタイトルを1案の「ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承」とする。3点目は、同基本計画に向けた要素の4点目を「幼児期からの豊かな情操教育による文化的風土の醸成」とする。以上3点を修正し、1月16日開催の審議会に諮ることとしてよろしいか。

<了承>

(2) 基本構想「施策の大綱(骨子案)」行財政部会について

- 作業部会員 ・行政経営の方針と教育関係の骨子案との関係はどうなるのか。行政経営の方針の1～5の各項目が教育分野の各項目にかかっていくものだとすると、教育分野についてももう一度見直さないといけない箇所が出てくるかもしれないが。
- 事務局 ・行財政経営の方針は、施策を展開する上で共通する考え方となる。この方針が各分野の施策を進めていく上での全体を包括する行政の基本的市政として理解していただきたい。
- 作業副部長 ・5項目目の市民満足度はポイントになるところであるが、その前にある「成果重視による」は、成果に走りすぎると組織がガタガタになるのではないかと危惧する。成果が出しやすい事業は良いが、すぐに成果が望めないものはどうするのか。
- 事務局 ・すぐに成果が見えない施策もあるが、3～5年のサイクルで評価、改善を行うことで市民満足度を高め、成果としていくという考え方である。
- 専門部会員 ・1項目目の2点目、「施策形成過程からの・・・」とあるのは、この表現でよいのか。もう少しやわらかい表現にならないかと思う。
- 事務局 ・「施策形成」は通常使用している表現であるため、現行のままとしたい。

以上